

第2章 集計結果

(1) 非支援世帯集計と要支援世帯集計（児童扶養手当受給世帯及び生活保護世帯）との比較

今回の調査では、対象配布先を一般世帯 2,143 通、児童扶養手当受給世帯 538 通、準要保護教育援助受給世帯 367 通、生活保護受給世帯 238 通としたので、県民世帯の一般的な構成比とは異なり。そこで、全体集計としては、現在児童扶養手当を受給している世帯及び現在生活保護を受給している世帯を「要支援世帯」と、それ以外の世帯を「非支援世帯」とし、大きなくりの対象群として全体集計をしている。（準要保護教育援助受給世帯は、2つのいずれの対象群にも存在することから、特定の対象群としない統計になっている。）この節では、調査票質問の順を追う形で、すべての回答の数字を出している。

なお、未回答数は百分率計算に含めず割合を算出している。また、百分率計算は、小数点第2位を四捨五入しているため、合計割合が100%にならない計算表もある。

○回答家庭全数 798 世帯 回答家庭の子どもの数 1,491 人

内：非支援世帯回答 589 世帯 対象家庭の子どもの数 1,157 人
 要支援世帯家庭回答 209 世帯 対象家庭の子どもの数 334 人

■お子さんについておたずねします。

問1 18才以下で仕事についてないお子さんの数

【表1-1】

非支援世帯		
項目	回答数	割合
1人	193	32.8
2人	254	43.1
3人	117	19.9
4人	21	3.6
5人	3	0.5
6人	1	0.2

(n=589)

【表1-2】

要支援世帯		
項目	回答数	割合
1人	112	53.6
2人	73	34.9
3人	20	9.6
4人	4	1.9
5人	0	0
6人	0	0

(n=209)

一般世帯では、児童の数は2人が最大項目となり、要支援世帯では1人が最大項目となる。世帯当たりの平均児童数では、一般世帯で1.96人、要支援世帯では1.59人となり、世帯単位の児童数は、明らかに要支援世帯家庭単位の児童数が少なくなっている。

問 2. 18 才以下のお子さんの性別、年齢、健康状態、障がいの有無について

○お子さんの性別

女児 694 人 (48.2%) 男児 747 人 (51.8%) [※未記入 50 人]

○お子さんの年齢構成

【表 2 - 1】

非支援世帯					
項目	回答数	割合	項目	回答数	割合
0 歳	35	3.0	10 歳	57	5.0
1 歳	47	4.1	11 歳	75	6.5
2 歳	60	5.2	12 歳	79	6.8
3 歳	58	5.0	13 歳	82	7.1
4 歳	53	4.6	14 歳	61	5.3
5 歳	63	5.5	15 歳	79	6.8
6 歳	64	5.5	16 歳	59	5.2
7 歳	54	4.7	17 歳	59	5.2
8 歳	60	5.2	18 歳	42	3.6
9 歳	64	5.5			

(n = 1,151)

【表 2 - 2】

要支援世帯					
項目	回答数	割合	項目	回答数	割合
0 歳	1	0.3	10 歳	19	5.7
1 歳	4	1.2	11 歳	22	6.6
2 歳	6	1.8	12 歳	25	7.5
3 歳	7	2.1	13 歳	31	9.3
4 歳	8	2.4	14 歳	39	11.7
5 歳	6	1.5	15 歳	36	10.8
6 歳	12	3.6	16 歳	28	8.4
7 歳	14	4.2	17 歳	32	9.6
8 歳	15	4.5	18 歳	6	1.8
9 歳	21	6.3			

(n = 332)

○お子さんの健康状態

1. 良好です 2. やや不調があります 3. 病弱です

【表3-1】

非支援世帯		
項目	回答数	割合
1	1,092	95.9
2	42	3.7
3	5	0.4

(n=1,139)

【表3-2】

要支援世帯		
項目	回答数	割合
1	292	89.6
2	33	10.1
3	1	0.3

(n=326)

○障がいのあるお子さん : 58人 (全体の3.9%)

非支援世帯 : 39名

要支援世帯 : 19名

■記入者についておたずねします。

問3. 続柄 (お子さんからみて)

1. 母 2. 父 3. 祖母・祖父 4. 兄弟姉妹 5. おじ・おば 6. その他

【表3-1】

非支援世帯		
項目	回答数	割合
1	354	60.4
2	190	32.4
3	42	7.2
4	0	0
5	0	0
6	0	0

(n=586)

【表3-2】

要支援世帯		
項目	回答数	割合
1	181	86.2
2	19	9.0
3	8	3.8
4	2	1.0
5	0	0
6	0	0

(n=210)

問 4. 記入者の年齢

【表 4 - 1】

非支援世帯		
項目	回答数	割合
10代	0	0
20代	27	4.6
30代	194	33.3
40代	237	40.7
50代	81	13.9
60代	31	5.3
70代	11	1.9
80代	2	0.3

(n=583)

【表 4 - 2】

要支援世帯		
項目	回答数	割合
10代	1	4.8
20代	11	5.2
30代	79	37.6
40代	94	44.8
50代	18	8.6
60代	6	2.8
70代	1	0.5
80代	0	0

(n =210)

■世帯の状況についておたずねします

問 5. 世帯の人数

【表 5 - 1】

非支援世帯					
項目	回答数	割合	項目	回答数	割合
2人	11	1.9	7人	47	22.3
3人	102	17.4	8人	17	8.1
4人	173	29.5	9人	6	2.8
5人	135	23.0	10人	2	0.9
6人	94	16.0	—		

(n=587)

【表 5 - 2】

要支援世帯					
項目	回答数	割合	項目	回答数	割合
2人	53	25.1	7人	3	1.4
3人	75	35.5	8人	1	0.5
4人	45	21.3	9人	0	0
5人	28	13.2	10人	0	0
6人	5	2.4	—		

(n=210)

要支援世帯には、母子・父子家庭が多く含まれるため、3人世帯が最大数となっている。平均世帯人数は、非支援世帯が 4.76 人、要支援世帯が 3.38 人と算出される。

問 6. 家族（18才以下のお子さん以外）の構成員の状況

実際のアンケートでは、祖父母・成人した兄弟・姉妹・おじ・おば等、同居するすべての家族に関して記入をしてもらっているが、本書では「父母」の職業、最終学歴をまとめる。

○父母の職業

1. 正社員・正規職員 2. パート・アルバイト 3. 契約職員・派遣職員等
4. 自営業・家業 5. 学生 6. 無職

≪父親≫

【表 6-1】

父・非支援世帯		
項目	回答数	割合
1	426	79.8
2	8	1.5
3	13	2.4
4	79	1.5
5	1	0.2
6	7	1.3

(n=534)

【表 6-2】

父・要支援世帯		
項目	回答数	割合
1	11	42.3
2	1	3.8
3	3	11.5
4	0	0
5	0	0
6	11	42.3

(n=25)

≪母親≫

【表 6-3】

母・非支援世帯		
項目	回答数	割合
1	207	36.5
2	145	25.6
3	37	6.5
4	41	7.2
5	1	0.2
6	136	24.0

(n=567)

【表 6-4】

母・要支援世帯		
項目	回答数	割合
1	67	38.5
2	41	23.6
3	25	14.4
4	3	1.7
5	2	1.1
6	36	20.7

(n=174)

○父母の最終学歴

1. 中学校 2. 中学校中退 3. 高校 4. 高校中退 5. 専門学校・短期大学
6. 専門学校・短期大学中退 7. 大学 8. 大学中退 9. 大学院 10. 大学院中退
11. 大学等在学中 12. わからない

《父親》

【表 6 - 5】

父・非支援世帯		
項目	回答数	割合
中学（中退含む）	15	3.7
高校（中退含む）	244	60.4
専・短（中退含む）	13	3.2
大学以上	132	32.7

(n=404)

【表 6 - 6】

父・要支援世帯		
項目	回答数	割合
中学（中退含む）	2	12.5
高校（中退含む）	12	75.0
専・短（中退含む）	0	0
大学以上	2	12.5

(n=16)

《母親》

【表 6 - 6】

母・非支援世帯		
項目	回答数	割合
中学（中退含む）	9	2.5
高校（中退含む）	248	68.0
専・短（中退含む）	24	6.6
大学以上	84	23.0

(n=365)

【表 6 - 7】

母・要支援世帯		
項目	回答数	割合
中学（中退含む）	10	8.1
高校（中退含む）	97	78.2
専・短（中退含む）	9	7.3
大学以上	8	6.4

(n=124)

父母の最終学歴は、要支援世帯の父母いずれも高校卒業（中退含む）者が、非支援世帯のものより 10 ポイント以上割合が高く、とりわけ大学以上の学歴は顕著な差がみられる。

○ご家族に健康状態の悪い方がいる世帯

1. 良好です 2. やや不調があります 3. 病弱です

非支援世帯で、2 または 3 の回答者がいる世帯 : 178 世帯 (30.2%)

要支援世帯で、2 または 3 の回答者がいる世帯 : 91 世帯 (43.5%)

○ご家族に障がいのある方、あるいは介護状態にある方がいらっしゃる世帯

非支援世帯で : 50 世帯 (8.5%)

要支援世帯で : 26 世帯 (12.4%)

問7 お住まいの状況についておうかがいします。

【当てはまる番号1つに○をご記入ください。】

- | | |
|----------------------------|--------|
| 1. 持ち家（一戸建て・マンション） | 2. 社宅 |
| 3. 民間賃貸住宅（一戸建て・アパート・マンション） | 5. その他 |
| 4. 県営・市町村営住宅 | |

【表7-1】

非支援世帯		
項目	回答数	割合
1	450	76.9
2	8	1.4
3	79	13.5
4	36	6.1
5	12	2.0

(n=585)

【表7-2】

要支援世帯		
項目	回答数	割合
1	84	40.2
2	1	0.5
3	63	30.2
4	52	24.9
5	9	4.3

(n=209)

問8 あなたのご家庭では、地域でのお付き合いはどの程度ありますか。

【当てはまる番号1つに○をご記入ください。】

- | | |
|----------------|----------------|
| 1. よく付き合っている | 2. ある程度付き合っている |
| 3. あまり付き合っていない | 4. 全く付き合っていない |

【表8-1】

非支援世帯		
項目	回答数	割合
1	147	25.2
2	292	50.0
3	118	20.2
4	27	4.6

(n=584)

【表8-2】

要支援世帯		
項目	回答数	割合
1	27	12.9
2	101	48.1
3	59	28.1
4	23	11.0

(n=210)

要支援世帯のほうが、地域でのお付き合いでは「あまり付き合っていない」「全く付き合っていない」の割合が大きい。

問9 世帯員について心配なことの有無【当てはまる番号1つに○をご記入ください】

- | | |
|-------|-------|
| 1. なし | 2. あり |
|-------|-------|

【表 9-1】

非支援世帯		
項目	回答数	割合
1	455	78.7
2	123	21.3

(n=578)

【表 9-2】

要支援世帯		
項目	回答数	割合
1	142	68.9
2	64	31.1

(n=206)

問 10. 問 9 で「あり」の場合の自由記述は、第 2 章 (4) の「問 10」自由記述を参照

■世帯の経済状況についておうかがいします

問 11. 世帯全体の月収入（おおよそで結構です）

【表 10-1】

非支援世帯		
項目	回答数	割合
10 万未満	5	0.9
11 万～15 万	14	2.6
16 万～20 万	36	6.7
21 万～25 万	49	9.1
26 万～30 万	95	17.6
31 万～35 万	48	8.9
36 万～40 万	89	16.5
41 万～45 万	28	5.2
46 万～50 万	65	12.0
51 万以上	110	20.4

(n=539)

【表 10-2】

要支援世帯		
項目	回答数	割合
10 万未満	15	7.4
11 万～15 万	49	24.1
16 万～20 万	55	27.0
21 万～25 万	41	20.1
26 万～30 万	17	8.4
31 万～35 万	5	2.5
36 万～40 万	8	3.9
41 万～45 万	2	1.0
46 万～50 万	8	3.9
51 万以上	3	1.5

(n=203)

非支援世帯では、月収 26～30 万円が区割り集計では最多となり、51 万円上の世帯も約 20%に上る。要支援世帯では、16 万～20 万円が最多となり、11 万～15 万円も約 1/4 を占める。

問 12 以下の支出に関して、現在・過去と支払いが滞った経験はありますか。

【該当があるところに○印をご記入ください。】

【表 11-1】

一般 家庭	税金	各種 保険料	住居費 (家賃)	光熱水費	教育費	医療費	各種 ローン	借入金	通信費
現在 (人)	40	29	8	22	14	12	25	15	16
割合	6.8	4.9	1.4	3.7	2.4	2.0	4.3	2.6	2.8
過去 (人)	65	41	17	32	16	9	27	15	25
割合	11.0	7.0	2.9	5.5	2.4	1.5	4.3	2.6	2.8

(n = 589)

【表 11-2】

要支援 世帯	税金	各種 保険料	住居費 (家賃)	光熱水費	教育費	医療費	各種 ローン	借入金	通信費
現在 (人)	15	15	17	23	12	4	8	9	16
割合	7.2	7.2	8.2	11.0	5.7	1.9	3.8	4.3	7.6
過去 (人)	47	37	37	48	27	13	26	9	28
割合	22.5	17.7	17.7	22.9	12.9	6.3	12.4	4.3	13.3

(n = 209)

現在支払いが滞った経験がある項目では、「医療費」「各種ローン」を除き、要支援世帯が上回る。特に「光熱水費」については7ポイント以上の差が見られる。過去の経験をたずねても、多くは10ポイント以上の差が見られ、特に「住居費」「光熱水費」には顕著な差が見られる。

問 13 以下の公的給付について現在・過去と受給されたことはありますか。

【該当があるところに○印をご記入ください。】

【表 12-1】

非支援世帯	生活保護	児童手当	児童扶養手当	就学支援	各種奨学金	その他
現在 (人)	0	397	0	45	25	11
割合	0	67.4	0	7.6	4.2	1.9
過去 (人)	2	346	71	41	43	11
割合	0.3	58.7	12.1	7.0	7.3	1.9

(n=589)

その他には、特別児童扶養手当、特別障害者手当、公的医療制度、就園奨学金、出産祝金、労災年金などがあげられた。

【表 12-2】

要支援世帯	生活保護	児童手当	児童扶養手当	就学支援	各種奨学金	その他
現在 (人)	50	177	192	104	17	5
割合	23.9	84.7	91.9	49.8	8.1	2.4
過去 (人)	16	143	119	60	17	2
割合	7.6	68.4	56.9	28.7	8.1	0.9

(n=209)

要支援世帯では、就学支援を活用する世帯も多く、児童扶養手当と就学支援の併用世帯も多い。その他の回答では、遺族年金 母子手当があげられた。

問 14 生活状況をどうお感じになっていますか。主観で結構です。

【当てはまる番号 1 つに○をご記入ください】

- | | | |
|-------------|-------------|--------|
| 1. 大変ゆとりがある | 2. ややゆとりがある | 3. ふつう |
| 4. やや苦しい | 5. 大変苦しい | |

【表 13-1】

非支援世帯		
項目	回答数	割合
1	3	0.5
2	49	8.4
3	296	50.9
4	173	29.8
5	60	10.3

(n=581)

【表 13-2】

要支援世帯		
項目	回答数	割合
1	1	0.5
2	5	2.4
3	49	23.4
4	84	40.2
5	70	33.5

(n=209)

要支援世帯では、経済的負担感が明らかに強い。「やや苦しい」「大変苦しい」の合算では、70%以上の世帯がそう感じていることが表れている。

問 15 教育に係る費用で負担とを感じるものはありますか。

【当てはまる番号すべてに○をご記入ください】

- | | | | |
|-----------|-----------|---------|-------------------|
| 1. 授業料 | 2. 学用品 | 3. 給食費 | 4. 学校の行事費（修学旅行など） |
| 5. 部活の活動費 | 6. 本・参考書類 | 7. 塾の月謝 | |
| 8. その他（ | | | ） |

【表 14-1】

非支援世帯		
項目	回答数	割合
1	86	14.6
2	81	13.8
3	66	11.2
4	112	19.0
5	101	17.1
6	34	5.8
7	168	28.5
8	35	6.0

(n=589)

【表 14-2】

要支援世帯		
項目	回答数	割合
1	36	17.2
2	60	28.7
3	39	18.7
4	84	40.2
5	71	34.0
6	28	13.4
7	59	28.2
8	21	1.0

(n=209)

教育費の負担感では、「学校の行事費」に顕著な開きがある。「学用品」「部活の活動費」にもほぼ15ポイント以上の差が見られる。ただし、「塾の月謝」については、要支援・非支援にかかわらず、1/4の世帯が負担と感している。

問 16 経済状況の自由記述は、第2章(4)の「問16」自由記述を参照

■お子さんとの生活状況やかかわりについておたずねします。

問 17 お子さんは1週間に朝食をどのぐらいとられていますか。

【当てはまる番号1つに○をご記入ください】

1. 毎日とっている 2. 週に5、6日は食べる
3. 週に3、4日は食べる 4. 週に1、2日は食べる 5. ほとんどとらない

【表 15-1】

非支援世帯		
項目	回答数	割合
1	522	89.2
2	26	4.4
3	21	3.6
4	8	1.7
5	8	1.7

(n=585)

【表 15-2】

要支援世帯		
項目	回答数	割合
1	173	83.6
2	12	5.8
3	10	4.7
4	4	1.9
5	8	3.8

(n=207)

週の半分は朝食をとらないお子さんが、59世帯(7.4%)にのぼる。要支援世帯では、1/10の世帯で、週の半分以上朝食をとっていない様子が見られる。

問 18 朝食の準備はどのようにされていますか。

【当てはまる番号3つまでを多い順番にご記入ください】

1. 家族が手料理する 2. 前日の残り物を使用する
3. インスタント食品(冷凍食品を含む)を調理する
4. 買ってきたものを出す(出来合いのもの、サンドウィッチ、おにぎり)
5. お菓子で済ます 6. お金を渡す 7. 朝食はとらない

【表 16-1】

非支援世帯						
項目	1位		2位		3位	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
1	451	76.6	79	13.5	40	6.8
2	88	15.0	341	57.9	41	7.0
3	9	1.5	58	1.0	141	23.9
4	30	5.1	37	6.3	140	23.8
5	0	0	1	0.2	2	0.3
6	0	0	0	0	2	0.3
7	4	0.7	1	0.2	7	1.2
その他	1	0.2	0	0	0	0

(各位：n=589)

【表 16-2】

要支援世帯						
項目	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
	1位		2位		3位	
1	146	69.9	27	12.9	12	5.7
2	31	14.8	120	57.4	14	6.6
3	6	2.8	21	10.0	53	25.3
4	18	8.5	22	10.4	50	23.9
5	0	0	2	1.0	0	0
6	2	1.0	1	0.5	3	1.4
7	4	1.9	0	0	13	6.2
その他	0	0	1	0.5	0	0

(各位：n=209)

問 19 お子さんは主に誰と朝食を食べていますか。

【当てはまる番号1つに○をご記入ください】

1. 家族全員で 2. 兄弟姉妹で 3. 家族まちまちで
4. ひとりで 5 その他 ()

【表 17-1】

非支援世帯		
項目	回答数	割合
1	205	35.2
2	115	19.7
3	210	36.0
4	19	3.2
5	34	5.8

(n=583)

【表 17-2】

要支援世帯		
項目	回答数	割合
1	93	44.7
2	25	12.0
3	55	26.4
4	27	13.0
5	8	3.8

(n=208)

非支援世帯の方が、家族全員で朝食をとる率が少なく、「家族まちまちで」朝食をとる率は、要支援世帯を上回った。一方、要支援世帯では、子どもが1人で朝食をとる数字が13%にあがる。

問 20 夕食の準備はどのようにされていますか。

【当てはまる番号 3 つを多い順番にご記入ください】

1. 家族が手料理する 2. 前日の残り物を使用する
 3. インスタント食品（冷凍食品を含む）を調理する
 4. 買ってきたものを出す（出来合いのもの、サンドウィッチ、おにぎり）
 5. 店屋物・外食 6. お金を渡す 7. 夕食はとらない

【表 18-1】

非支援世帯						
項目	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
	1 位		2 位		3 位	
1	564	95.8	11	1.9	5	0.9
2	5	0.9	251	42.6	39	6.6
3	4	0.7	87	14.8	120	20.4
4	10	1.7	128	21.7	184	31.2
5	0	0	22	3.7	86	14.7
6	0	0	1	0.2	1	0.2
7	0	0	0	0	0	0
その他	1	0.2	0	0	0	0

(各位：n = 589)

【表 18-2】

要支援世帯						
項目	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
	1 位		2 位		3 位	
1	196	93.7	8	3.8	5	2.4
2	3	1.4	84	40.1	19	9.0
3	2	0.9	33	15.8	46	21.8
4	6	2.8	51	24.4	56	26.5
5	1	0.5	10	4.7	33	15.6
6	1	0.5	0	0	1	0.5
7	0	0	1	0.5	1	0.5
その他	0	0	0	0	0	0

(各位：n = 209)

問 21 お子さんは主に誰と夕食を食べていますか。

【当てはまる番号 1 つに○をご記入ください】

- | | | |
|----------|------------|------------|
| 1. 家族全員で | 2. 兄弟姉妹で | 3. 家族まちまちで |
| 4. ひとりで | 5. その他 () | |

【表 19-1】

非支援世帯		
項目	回答数	割合
1	391	67.5
2	20	3.5
3	138	23.8
4	2	0.3
5	28	4.8

(n = 579)

【表 19-2】

要支援世帯		
項目	回答数	割合
1	161	78.2
2	2	1.0
3	32	15.5
4	5	2.4
5	6	2.9

(n = 206)

問 22 お子さんの食生活で心配なことの自由記述は、第 2 章 (4) の「問 22」自由記述を参照

問 23 この 1 年間で、病院等で診察を受ける必要を感じたけれども、受診しなかった・できなかったことはありますか。【当てはまる番号すべてに○をご記入ください】

- | |
|------------------------------------|
| 1. そのようなことはなかった。 |
| 2. あった (仕事や家庭の都合で行く時間がなかった) |
| 3. あった (保護者の身体上・健康上の理由で行くことが困難だった) |
| 4. あった (診療機関まで遠方であった) |
| 5. あった (医療費を支払うことが難しかった) |
| 6. あった (その他) |

【表 20-1】

非支援世帯		
項目	回答数	割合
1	452	76.7
2	103	17.5
3	7	1.9
4	22	3.7
5	9	1.5
6	17	2.9

(n = 589)

【表 20-2】

要支援世帯		
項目	回答数	割合
1	124	59.3
2	59	28.2
3	7	3.3
4	15	7.2
5	15	7.2
6	7	3.3

(n = 209)

要支援世帯のうち、選択肢2～6の中からまで1つでも選んだ世帯が80世帯(38.3%)にのぼる。3世帯に1世帯以上は、診療を受ける必要はあったが、何かしらの理由で受診しなかったことになる。要支援世帯でその他の回答には、「学校の検査で再検査の通知がきても行かなかった」「部活を休めない」「生活保護を受けているため医療券をもらいに行くのが大変」「親の休みと子供の休みが合わない」「生活保護だと病院に受診しづらい」という理由があげられていた。

また、非支援でも、126世帯(21.4%)、5世帯に1世帯は何らかの理由で受診しなかった経験をもつ。

問24 ご家庭で、お子さんとともにあるいはお子さんに対して、この1年間で次のような事柄をすることがありましたか。【当てはまる番号すべてに○をご記入ください】

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1. デパートなどに買い物に行く。 | 2. 公園や遊び場、遊園地に行く |
| 3. 図書館、書店に行く。 | 4. 地域の行事に出かける。 |
| 5. いっしょにスポーツをする。 | 6. いっしょに映画を見にでかける |
| 7. 祖父母、親戚の家に行く。 | 8. 誕生日のお祝いをする。 |
| 9. クリスマスにプレゼントをする。 | 10. お年玉をあげる。 |
| 11. 日帰りの旅行に行く | 12. 宿泊での旅行に行く |

【表21-1】

非支援世帯					
項目	回答数	割合	項目	回答数	割合
1	532	90.3	7	479	81.3
2	392	66.6	8	534	90.7
3	420	71.3	9	475	80.6
4	367	62.3	10	407	69.1
5	305	51.8	11	322	54.7
6	227	38.5	12	317	53.8

(n=589)

【表21-2】

要支援世帯					
項目	回答数	割合	項目	回答数	割合
1	169	80.9	7	133	63.6
2	99	47.4	8	174	83.3
3	129	61.7	9	137	65.6
4	85	40.7	10	113	54.1
5	72	34.4	11	73	34.9
6	85	40.7	12	60	28.7

(n=209)

薄い網掛け部分は、非支援世帯と要支援世帯とに 10 ポイント以上の差があり、濃い網掛け部分は、ほぼ 20 ポイント以上の差がある項目を示してる。「宿泊の旅行」経験では、要支援世帯では非支援世帯のほぼ半分となる。

1 位はいずれも「誕生日のお祝い」であった。「地域の行事に出かける」、「いっしょにスポーツをする」「いっしょに映画を見にでかける」は概して、高い数値ではない。

問 25 おさんの将来のために経済的に備えていることはありますか。

【当てはまる番号すべてに○をご記入ください】

- | | | |
|---------------|----------------|------------|
| 1. 子ども名義の預金口座 | 2. 子育てに備えた定期預金 | 3. 学資保険 |
| 4. 生命保険 | 5. へそくり | 6. その他 () |
| 7. 特にない | | |

【表 22-1】

非支援世帯		
項目	回答数	割合
1	390	66.2
2	142	24.1
3	368	62.5
4	266	45.2
5	26	4.4
6	11	1.9
7	46	7.8

(n = 589)

【表 22-2】

要支援世帯		
項目	回答数	割合
1	93	44.5
2	31	14.8
3	80	38.2
4	67	32.0
5	9	4.3
6	3	1.4
7	61	29.2

(n = 209)

■問 26～問 47 までは就学中（小学校・中学校・高校）のお子さんの事柄についてたずねています。

○対象就学児童の学年構成

【表 23-1】

非支援世帯					
項目	回答数	割合	項目	回答数	割合
小 1	59	7.6	中 1	84	10.8
小 2	57	7.3	中 2	64	8.2
小 3	62	7.9	中 3	70	9.0
小 4	60	7.7	高 1	70	9.0
小 5	70	9.0	高 2	49	6.3
小 6	78	10.0	高 3	57	7.3

(n=780)

【表 23-2】

要支援世帯					
項目	回答数	割合	項目	回答数	割合
小 1	13	4.5	中 1	34	11.7
小 2	18	6.2	中 2	37	12.8
小 3	17	5.9	中 3	35	12.1
小 4	19	6.6	高 1	25	8.6
小 5	22	7.6	高 2	33	11.4
小 6	24	8.3	高 3	13	4.5

(n=290)

問 26 平日のお子さんの起床時間はおおよそ何時ですか。

【表の下にある項目から 1 つ番号をお選びください。】

1. 午前 6 時以前 2. 午前 6 時～7 時 3. 午前 7 時～8 時 4. 午前 8 時以降

【表 24-1】

非支援世帯		
項目	回答数	割合
1	96	12.4
2	623	80.4
3	50	6.4
4	3	0.4
5	3	0.4

(n=775)

【表 24-2】

要支援世帯		
項目	回答数	割合
1	36	12.7
2	221	77.8
3	16	5.6
4	11	3.9
5	0	0

(n=284)

問 27 休日のお子さんの起床時間はおおよそ何時ですか。

【表の下にある項目から1つ番号をお選びください。】

1. 午前6時以前 2. 午前6時～7時 3. 午前7時～8時 4. 午前8時～9時
5. 午前9時～10時 6. 午前10時以降

【表 25-1】

非支援世帯		
項目	回答数	割合
1	41	5.3
2	199	25.6
3	294	37.8
4	138	17.8
5	59	7.6
6	46	5.9

(n=777)

【表 25-2】

要支援世帯		
項目	回答数	割合
1	4	1.4
2	68	23.7
3	88	30.7
4	53	18.5
5	44	15.3
6	30	10.5

(n=287)

休日の起床は、概して要支援世帯の方が「遅め」の傾向が見られる。

問 28 普段のお子さんの就寝時間はおおよそ何時ですか。

【表の下にある項目から1つ番号をお選びください。】

1. 午後8時以前 2. 午後8時～9時 3. 午後9時～10時
4. 午後10時～11時 5. 午後11時～深夜0時 6. 深夜0時以降

【表 26-1】

非支援世帯		
項目	回答数	割合
1	9	1.2
2	83	10.7
3	258	33.2
4	201	25.9
5	167	21.5
6	59	7.6

(n=777)

【表 26-2】

要支援世帯		
項目	回答数	割合
1	2	0.7
2	23	8.0
3	74	25.9
4	86	30.1
5	73	25.5
6	28	9.8

(n=286)

就寝時間は、概して要支援世帯の方が「遅め」の傾向が見られる。

問 29 お子さんの衣服（制服は除きます）の交換についておたずねします。

【表の下にある項目から 1 つ番号をお選びください。】

- | | |
|-----------------------------------|---------------------|
| 1. すべて毎日着替えられている | 2. 下着類を連続で着ていることがある |
| 3. 靴下を連続で着ていることがある | |
| 4. 上着（シャツ・ズボン・スカート等）を連続で着ていることがある | |
| 5. 同じ着衣を続けることはよくある。 | 6. よくわからない |

【表 27-1】

非支援世帯		
項目	回答数	割合
1	705	91.0
2	9	1.2
3	0	0
4	48	6.2
5	12	1.5
6	1	0.1

(n=775)

【表 27-2】

要支援世帯		
項目	回答数	割合
1	243	84.7
2	9	3.1
3	1	0.3
4	19	6.6
5	14	4.9
6	1	0.3

(n=287)

「上着（シャツ・ズボン・スカート等）を連続で着ていることがある」にやや違いが見られる。

問 30 お子さんの入浴の頻度についておたずねします。

【表の下にある項目から 1 つ番号をお選びください。】

- | | | |
|---------|-----------------|-----------------|
| 1. 毎日入る | 2. 時々入浴しないことがある | 3. よく入浴しないことがある |
|---------|-----------------|-----------------|

【表 28-1】

非支援世帯		
項目	回答数	割合
1	700	90.3
2	71	9.2
3	4	0.5

(n=775)

【表 28-2】

要支援世帯		
項目	回答数	割合
1	214	74.6
2	72	25.1
3	1	0.3

(n=287)

「時々入浴しないことがある」に有意な差が見られる。

問 31 お子さんへのお小遣いについておたずねします。

【表の下にある項目から 1 つ番号をお選びください。】

- | | | |
|--------------------|--------------------|--------------------|
| 1. 月 500 円未満 | 2. 月 500 円～1000 円 | 3. 月 1000 円～2000 円 |
| 4. 月 2000 円～3000 円 | 5. 月 3000 円～5000 円 | 6. 月 5000 円以上 |
| 7. 月額ではなく必要な時に渡す | 8. お小遣いは出していない | |

【表 29-1】

非支援世帯		
項目	回答数	割合
1	42	5.4
2	71	9.2
3	63	8.1
4	57	7.3
5	75	9.6
6	35	4.5
7	258	33.3
8	174	22.5

(n = 775)

【表 29-2】

要支援世帯		
項目	回答数	割合
1	15	5.2
2	28	9.8
3	23	8.0
4	21	7.3
5	26	9.1
6	12	4.2
7	93	32.4
8	69	24.0

(n = 287)

子どもに対するお小遣いの状況には、非支援世帯・要支援世帯とも大きな差異は見られない。要支援世帯は経済的な負担感をより感じているというアンケートの回答が見られたが、子どもに対する金銭的なサポートは、保護者として子どもへの付き合い方として変わらぬ姿勢がうかがえる。

問 32 次の①～⑦にあげるもので、お子さん自身が持っているものをおたずねします。

- ①学習机 ②自転車 ③スマホ・携帯電話 ④携帯音楽プレーヤー ⑤子ども部屋
⑥ゲーム機 ⑦パソコン

【表 30-1】

非支援世帯							
項目	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
回答数	616	678	309	229	539	564	74
割合	78.0	85.8	39.1	29.0	68.2	71.4	9.4

(n = 790)

【表 30-2】

要支援世帯							
項目	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
回答数	172	212	127	70	171	206	29
割合	59.3	73.1	43.8	24.1	59.0	71.0	10.0

(n = 290)

非支援世帯と要支援世帯との間に、「学習机」「自転車」「子ども部屋」ではほぼ10ポイントの開きが見られる。その中でも「学習机」には大きな差が見られる。

一方で、「スマホ・携帯」はむしろ要支援世帯の子どもさんの所有率が高くなっている。母親等保護者との連絡手段として確保するケースが多いという推測もできる。

問 33 次の①～⑧にあげるもので、保護者として足りていると思われるかおたずねします。【表の下にある項目から該当する番号を1つ選び（例）にならぬご記入ください。】

- ①衣服 ②靴 ③本・参考書 ④学習用品 ⑤ゲーム等遊び道具
 ⑥お子さんの趣味・好みにかかわる物 ⑦今お子さんがされている活動に必要な物
 ⑧（お子さん自身が）友達とのつき合いにかかわるお金

1. 多いと思っている 2. 足りていると思う 3. やや足りないと思う
 4. 足りていない 5. 必要ない

【表 31-1】

非支援世帯									
項目	①	割合	②	割合	③	割合	④	割合	
1	70	9.0	29	3.8	23	3.0	25	3.3	
2	580	74.6	607	78.7	527	68.8	662	86.1	
3	105	13.6	114	14.8	148	19.3	55	7.2	
4	22	2.8	21	2.7	63	8.2	22	2.9	
5	0	0	0	0	5	0.7	5	0.7	
	n = 777		n = 771		n = 766		n = 769		
項目	⑤	割合	⑥	割合	⑦	割合	⑧	割合	
1	135	17.7	83	10.9	28	3.7	12	1.6	
2	519	68.0	562	73.9	620	81.6	531	69.7	
3	30	3.9	82	10.8	59	7.8	72	9.4	
4	15	2.0	31	4.1	31	4.1	31	4.1	
5	64	8.4	2	0.3	22	2.9	116	15.2	
	n = 763		n = 760		n = 760		n = 762		

【表 31-2】

要支援世帯								
項目	①	割合	②	割合	③	割合	④	割合
1	10	3.5	5	1.8	5	1.8	4	1.4
2	154	54.0	174	61.5	150	53.0	216	75.8
3	86	30.2	74	26.1	73	25.8	43	15.1
4	35	12.3	30	10.6	46	16.3	14	4.9
5	0	0	0	0	9	3.2	8	2.8
	n = 285		n = 283		n = 281		n = 285	
項目	⑤	割合	⑥	割合	⑦	割合	⑧	割合
1	37	13.0	27	9.5	5	1.8	9	3.2
2	172	60.8	162	57.2	165	58.5	134	47.9
3	27	9.5	60	21.2	65	23.0	52	18.6
4	14	4.9	31	11.0	32	11.3	39	13.9
5	33	11.7	3	1.1	15	5.3	46	16.4
	n = 283		n = 283		n = 282		n = 280	

物品、または子どもの行動上必要なものの充足度に関して、要支援世帯では、多くの項目が「やや足りないと思う」「足りてない」と感じている。割合でも非支援世帯と比較すると高い。合算した数字で「衣服」「靴」「今お子さんがされている活動に必要な物」の項目では、20ポイント以上の開きがある。また、「衣服」「本・参考書」の項目では、要支援世帯で「やや足りないと思う」「足りてない」の選択肢を合わせて40%を超える。

問 34 お子さんの通学状況について

①遅刻の頻度

1. 遅刻しない 2. たまに遅刻する 3. しばしば遅刻する
4. 遅刻が多い 5. ほとんど遅刻する

②通学時間

1. 10分未満 2. 10分～30分 3. 30分～1時間 4. 1時間以上

③交通手段

1. 電車 2. バス 3. 自転車 4. 徒歩 5. 自家用車

【表 32-1】

非支援世帯					
項目	1	2	3	4	5
①遅刻の頻度	707	42	10	13	7
割合	90.7	5.4	1.3	1.7	0.9
②通学時間	202	422	114	31	—
割合	26.3	54.7	14.8	4.0	—
③交通手段	69	129	94	380	100
割合	8.9	16.7	12.2	49.2	13.0

(① : n = 769、② : n = 769、③ : n = 772)

【表 32-2】

要支援世帯					
項目	1	2	3	4	5
①遅刻の頻度	232	30	8	7	5
割合	82.3	10.6	2.8	2.5	1.8
②通学時間	58	156	60	6	—
割合	20.7	55.7	21.4	2.1	—
③交通手段	26	31	43	138	42
割合	9.3	11.1	15.4	49.3	15.0

(① : n = 282、② : n = 280、③ : n = 280)

問 35 お子さんの学校での成績の状況について

【表の下にある項目から 1 つ番号をお選びください。】

- | | | | |
|-------------|----------|-------|---------|
| 1. 上位と感じている | 2. 中位の上 | 3. 中位 | 4. 中位の下 |
| 5. 下位と感じている | 6. わからない | | |

【表 33-1】

非支援世帯		
項目	回答数	割合
1	170	21.8
2	184	23.6
3	216	27.7
4	89	11.4
5	87	11.2
6	33	4.2

(n=779)

【表 33-2】

要支援世帯		
項目	回答数	割合
1	37	12.9
2	51	17.8
3	82	28.7
4	37	12.9
5	66	23.1
6	13	4.5

(n=286)

要支援世帯の方が、保護者として「下位と感じている」傾向が高い。

問 36 いじめについて

【表の下にある項目から該当する番号を1つ選びんでください。】

1. ある 2. あると思われることがある 3. ない 4. わからない

【表 34-1】

非支援世帯				
項目	1	2	3	4
①いじめられたことがある(被害)	99	104	527	42
割合	12.7	13.3	67.6	5.4
②いじめたことがある(加害)	15	31	643	72
割合	1.9	4.0	82.4	9.2
③いじめを目撃したことがある (子どもの周囲でいじめがある)	68	73	439	179
割合	8.7	9.4	56.3	22.9

(① : n=772、② : n=761、③ : n=759)

【表 34-2】

要支援世帯				
項目	1	2	3	4
①いじめられたことがある(被害)	54	41	161	30
割合	18.6	14.1	55.5	10.3
②いじめたことがある(加害)	6	15	225	28
割合	2.1	5.2	77.6	9.7
③いじめを目撃したことがある (子どもの周囲でいじめがある)	33	41	130	70
割合	11.4	14.1	44.8	24.1

(① : n = 286、② : n = 264、③ : n = 274)

この設問の回答の数値は、現に「いじめ」が行われている実態値ではないことに注意を要するが、要支援世帯のほうが、「いじめがある」「いじめがあると思われることがある」割合が多い。親が認知する「いじめ」のデータは先行調査でもなかなか見られないため、推測の域を出ないが、保護者として子どもを見守る意識や子どもの対人関係に気を配る意識が、この傾向を生み出しているのかもしれない。

問 37 お子さんの学校を休む頻度をおたずねします。

【表の下にある項目から1つ番号をお選びください。】

1. 年に0～数回 2. 月に数回 3. 週に1回程度 4. 週に2回以上 5. わからない

【表 35-1】

非支援世帯		
項目	回答数	割合
1	752	96.8
2	16	2.1
3	4	0.5
4	3	0.4
5	2	0.3

(n = 777)

【表 35-2】

要支援世帯		
項目	回答数	割合
1	236	84.3
2	27	9.6
3	2	0.7
4	14	5.0
5	1	0.4

(n = 280)

回答数から顕著とまでは言えないが、要支援世帯のほうが学校を休む傾向が見られる。

問38 お子さんが学校を休む理由で、病気やけが以外で下のような状況が理由となることがありますか。

- | | | | |
|---------|------------|-----------|---------|
| 1. 気分 | 2. 朝起きられない | 3. いじめが理由 | 4. 学業不振 |
| 5. 友人関係 | 6. 不登校状態 | | |

【表 36-1】

非支援世帯		
項目	回答数	割合
1	66	8.4
2	34	4.4
3	14	1.8
4	20	2.6
5	20	2.6
6	9	1.2

(n=780)

【表 36-2】

要支援世帯		
項目	回答数	割合
1	52	17.9
2	31	10.7
3	10	3.4
4	20	6.9
5	19	6.6
6	19	6.6

(n=290)

回答数から絶対的に多い数値とは言えないが、「不登校状態」で学校を休む（休んでいる状態）が、28世帯に上ることは看過すべきではない。とりわけ、要支援世帯で数値が上がる。

問39 お子さんの放課後の活動状況についておたずねします。

【表の下にある項目から主なものを3つまでお選びください。】

- | | | | |
|-----------|-------------|-------------|----------|
| 1. 塾 | 2. 習い事 | 3. 部活 | 4. 学童クラブ |
| 5. 友人と過ごす | 6. 家で一人で過ごす | 7. 家で家族と過ごす | |
| 8. その他（ | | | ） |

【表 37-1】

非支援世帯		
項目	回答数	割合
1	79	10.1
2	64	8.2
3	269	34.5
4	88	11.3
5	61	7.8
6	42	5.4
7	141	18.1
8	24	3.1

(n=780)

【表 37-2】

要支援世帯		
項目	回答数	割合
1	20	6.9
2	15	5.2
3	91	31.4
4	30	10.3
5	30	10.3
6	35	12.1
7	54	18.6
8	6	2.1

(n=290)

放課後の主な過ごし方に、「家で1人で過ごす」もある程度の割合に上る。とりわけ、要支援世帯で数値が上がる。

問 40 お子さんが主に勉強する場所についておたずねします。

【表の下にある項目から1つ番号をお選びください。】

- | | | | |
|-----------|-----------|---------|--------------|
| 1. 自宅（自室） | 2. 自宅（居間） | 3. 学校 | 4. 図書館など公共施設 |
| 5. 塾の自習室 | 6. 友人宅 | 7. その他（ | ） |

【表 38-1】

非支援世帯		
項目	回答数	割合
1	284	36.6
2	414	53.6
3	35	4.5
4	4	0.5
5	14	1.8
6	1	0.1
7	24	3.1

(n=776)

【表 38-2】

要支援世帯		
項目	回答数	割合
1	80	28.4
2	174	61.7
3	16	5.7
4	3	1.1
5	1	0.4
6	1	0.4
7	7	2.5

(n=282)

近年は、勉強する場所として「居間」等家族のいる場所であるという傾向があると言われているが、その様相をこのアンケートにおいても示している。この傾向は、要支援世帯のほうに更に表れているが、非支援世帯に比べて自室を持たないという結果が、そのまま上乗せで数字に反映されていると思われる。

問 41 お子さんの就学の状況で心配なことの自由記述は、第2章(4)の「問41」自由記述を参照

問 42 お子さんが平日、学校から帰宅してから過ごす時間についておたずねします。

- | | | |
|--------------|------------|--------------|
| 1. 0（なし） | 2. 0～10分未満 | 3. 10分～30分未満 |
| 4. 30分～1時間未満 | 5. 1～2時間未満 | 6. 2～3時間未満 |
| 7. 3時間以上 | | |

【表 39-1】

非支援世帯							
項目	1	2	3	4	5	6	7
1. 勉強(塾以外)	48	24	153	244	206	60	27
2. スマホ・ゲーム	132	33	113	171	187	69	48
3. 家族と会話	7	38	200	249	142	62	53
4. 読書	312	158	154	82	26	1	0
5. 漫画・雑誌を読む	359	96	163	78	19	3	1
6. 友人と遊ぶ	437	13	39	77	114	38	7
7. 運動	428	53	83	43	71	40	7
8. インターネット	460	43	87	60	43	17	8
9. 音楽鑑賞	441	44	125	62	25	6	6
10. テレビ	44	8	78	204	281	101	26
11. アルバイト	682	1	1	0	7	4	9
12. 手伝い	260	295	145	14	6	0	0

(n=780)

【表 39-2】

要支援世帯							
項目	1	2	3	4	5	6	7
1. 勉強(塾以外)	25	17	50	90	68	22	4
2. スマホ・ゲーム	51	4	33	50	67	34	38
3. 家族と会話	3	14	70	70	75	18	29
4. 読書	139	44	46	25	6	2	1
5. 漫画・雑誌を読む	120	31	66	29	14	4	1
6. 友人と遊ぶ	151	3	14	23	40	21	11
7. 運動	165	19	26	17	20	10	2
8. インターネット	178	6	14	20	25	13	9
9. 音楽鑑賞	158	16	37	20	17	9	5
10. テレビ	16	2	29	56	113	35	28
11. アルバイト	246	2	2	0	1	4	6
12. 手伝い	83	111	48	13	5	2	0

(n=290)

薄い網掛けは、項目の中で1番多いもの。濃い網掛けは、2番目に多いもの。

問 43 お子さんが休日を過ごす時間についておたずねします。

1. 0 (なし) 2. 0～10分未満 3. 10分～30分未満
 4. 30分～1時間未満 5. 1～2時間未満 6. 2～3時間未満
 7. 3～5時間以上 8. 5時間以上

【表 40-1】

非支援世帯								
設問	1	2	3	4	5	6	7	8
1. 勉強(塾以外)	86	23	125	189	186	89	34	18
2. 塾	600	1	3	16	54	24	8	4
3. スマホ・ゲーム	108	22	75	105	209	115	71	39
4. 家族と会話	3	22	132	168	187	82	97	55
5. 読書	327	90	138	87	60	13	1	0
6. 漫画・雑誌を読む	331	64	126	118	59	17	1	0
7. 友人と遊ぶ	339	11	19	48	88	103	81	36
8. 運動	328	41	100	85	65	48	35	17
9. インターネット	436	21	85	49	72	17	18	9
10. 音楽鑑賞	371	29	79	67	53	20	6	1
11. テレビ	25	2	29	69	208	201	95	28
12. アルバイト	606	0	1	0	1	0	5	8
13. 手伝い	213	188	157	51	25	1	3	0
14. 部活(スポ少等含む)	374	1	1	3	33	79	99	40

(n=780)

【表 40-2】

要支援世帯								
設問	1	2	3	4	5	6	7	8
1. 勉強(塾以外)	56	12	33	65	59	38	6	2
2. 塾	224	0	1	12	11	7	4	2
3. スマホ・ゲーム	41	5	18	27	69	47	40	25
4. 家族と会話	7	11	37	48	72	45	37	18
5. 読書	154	23	34	37	11	4	2	0
6. 漫画・雑誌を読む	123	17	45	45	26	3	4	0
7. 友人と遊ぶ	129	1	6	8	34	28	37	20
8. 運動	158	16	31	14	24	6	9	1
9. インターネット	174	3	16	15	22	18	11	6
10. 音楽鑑賞	148	11	20	29	23	10	3	3

11. テレビ	12	0	7	17	62	93	57	12
12. アルバイト	234	0	2	0	0	0	7	6
13. 手伝い	76	74	63	28	9	3	0	1
14. 部活（スポ少等含む）	166	1	1	3	8	22	45	5

(n=290)

薄い網掛けは、項目の中で1番多いもの。濃い網掛けは、2番目に多いもの。

問 44. お子さんの時間の過ごし方で心配なことの自由記述は、第2章(4)の「問41」自由記述を参照

問 45 将来について、お子さんと話したことはありますか。

【当てはまる番号1つに○を付けてください】

1. ある 2. ない

【表 41-1】

非支援世帯		
項目	回答数	割合
1	404	90.2
2	44	9.8

(n=448)

【表 41-2】

要支援世帯		
項目	回答数	割合
1	179	94.2
2	11	5.8

(n=190)

問 46 お子さんについて、どの課程まで教育を受けさせたいと思っていますか。

【当てはまる番号1つに○をご記入ください】

1. 中学まで 2. 高校まで 3. 短大・高専・専門学校まで 4. 大学・大学院まで

【表 42-1】

非支援世帯		
項目	回答数	割合
1	1	0.2
2	78	17.4
3	85	19.0
4	282	63.1
その他	1	0.2

(n=447)

【表 42-2】

要支援世帯		
項目	回答数	割合
1	1	0.5
2	59	31.2
3	62	32.8
4	67	35.4
その他	0	0

(n=189)

非支援世帯と要支援世帯の傾向には明らかな違いが見られる。要支援世帯では、「高校まで」「短大・専門学校まで」「大学まで」がほぼ3分割の結果となっている。とりわけ、「大学まで」の比率は、非支援世帯のほぼ半分という状況である。次の設問にも関連するが、家庭の経済状況も反映された結果とも言える。

問 47 前の質問にある、親御さんの希望に対して心配はありますか。

【当てはまる番号がすべてに○を付けてください】

1. 子どもの学力	2. 子どもの意欲	3. 子どもと保護者の意見の違い
4. 子どもの健康面	5. 家庭の経済状況	6. 特にない

【表 43-1】

非支援世帯		
項目	回答数	割合
1	206	26.4
2	193	24.7
3	41	5.3
4	40	5.1
5	206	26.4
6	77	9.9

(n=780)

【表 43-2】

要支援世帯		
項目	回答数	割合
1	95	32.8
2	88	30.3
3	1	0.3
4	17	5.9
5	140	48.3
6	11	3.8

(n=290)

以下からは、再びすべての方々にたずねています。

■子どもに関して利用したことのある公的機関・制度

問 48 お子さんに関して、次の公的機関を利用したことはありますか。

【当てはまる番号すべてに○を付けてください】

1. 市町村の子どもに関する課・係	2. 福祉事務所
3. 保健所（保健センター）	4. 児童相談所
5. 特にない	

【表 44-1】

非支援世帯		
項目	回答数	割合
1	168	28.5
2	31	5.3
3	190	32.3
4	18	3.1
5	297	50.4

(n=589)

【表 44-2】

要支援世帯		
項目	回答数	割合
1	70	33.5
2	38	18.1
3	55	26.3
4	13	6.2
5	95	45.5

(n=209)

問 49 県または市町村によって行われているそれぞれの取り組みについて、

【表 45-1】

非支援世帯				
取 組 名 称	利用して いる	利用した ことがあ る	利用してな いが名前は 知っている	名前も知 らない
① 生活保護	0	3	497	0
② 児童手当	423	63	55	1
③ 児童扶養手当	89	33	279	87
④ 特別児童扶養手当	31	19	252	184
⑤ 就学援助	39	20	317	117
⑥ スクールカウンセラー	18	36	391	57
⑦ スクールソーシャルワーカー	4	5	341	140
⑧ 保育所・幼稚園・認定子ども園利用者 負担減免	63	54	221	161
⑨ 子ども医療費助成制度	358	70	69	30
⑩ 生活困窮者自立支援制度	7	2	226	259
⑪ ひとり親自立支援給付金	2	2	262	224
⑫ ひとり親家庭高等職業訓練促進給付金	0	0	151	340
⑬ ひとり親家庭医療費助成制度	14	13	181	287
⑭ 母子・父子・寡婦福祉資金貸付事業	0	1	131	357
⑮ 生活福祉資金貸付事業	0	6	129	353
⑯ 地域子育て支援センター	52	78	295	76
⑰ 室内遊び場	97	132	202	75
⑱ 放課後児童クラブ（学童クラブ）	86	98	311	20
⑲ 子育て応援パスポート（ファミたんカ ード）	267	127	107	29
⑳ ファミリー・サポートセンター	12	23	270	188
㉑ 思いやり駐車場	31	60	321	92

(n = 798)

【表 45-2】

要支援世帯				
取組名称	利用している	利用したことがある	利用してないが名前は知っている	名前も知らない
① 生活保護	48	4	130	0
② 児童手当	173	27	2	0
③ 児童扶養手当	186	8	10	0
④ 特別児童扶養手当	17	3	80	133
⑤ 就学援助	107	12	41	27
⑥ スクールカウンセラー	11	22	133	14
⑦ スクールソーシャルワーカー	6	6	112	52
⑧ 保育所・幼稚園・認定子ども園利用者負担減免	26	29	61	63
⑨ 子ども医療費助成制度	133	33	20	7
⑩ 生活困窮者自立支援制度	3	2	84	90
⑪ ひとり親自立支援給付金	13	7	97	65
⑫ ひとり親家庭高等職業訓練促進給付金	3	4	87	86
⑬ ひとり親家庭医療費助成制度	119	22	33	20
⑭ 母子・父子・寡婦福祉資金貸付事業	6	8	68	100
⑮ 生活福祉資金貸付事業	4	7	58	111
⑯ 地域子育て支援センター	9	26	107	38
⑰ 室内遊び場	27	38	73	46
⑱ 放課後児童クラブ(学童クラブ)	30	64	83	10
⑲ 子育て応援パスポート(ファミたんカード)	83	48	47	13
⑳ ファミリー・サポートセンター	6	7	91	76
㉑ 思いやり駐車場	3	10	113	53

(n=209)

各種施策に関して、「児童手当」「子ども医療費助成制度」「子育て応援パスポート」については、非支援世帯・要支援世帯とも絶対数1位で、認知性の優位にあることがわかる。要支援世帯についてはさらに「児童扶養手当」「ひとり親家庭医療費助成制度」の認知が高いことは自然な結果と言える。しかし、「生活困窮者自立支援制度」「ひとり親家庭高等職業訓練促進給付金」「母子・父子・寡婦福祉資金貸付事業」「生活福祉資金貸付事業」などは、当事者層を含む要支援世帯にも認知数が少ない。

また、「ファミリー・サポートセンター」「思いやり駐車場」は、認知はある程度されているものの、利用・活用には不十分と言える。とりわけ「ファミリー・サポートセンター」は、要支援・非支援にかかわらず、子育て支援施策の重要な社会資源であるが、利用につなげていくことが課題と言える。

「特別児童扶養手当」に関しては、障がい児を養育する家庭等の当事者でなければ、認識は薄い例である。

※非支援家庭の中で、「児童扶養手当を利用している」が一定回答に上がっているのは、対象群設定としては不可解な点であるが、制度の内容が十分に理解されていないため、他制度との混同があるのかもしれない。

■子育て全般について、心配なこと、困っていること

問 50 お子さんについて、悩んでいることはありますか。

【当てはまる番号すべてに○をご記入ください】

1. あいさつ、規則正しい生活、整理整頓など生活習慣が身についてない
2. 子どもが勉強をしない
3. 子どもが反抗的
4. 子どもが消極的
5. 子どもが良い友人関係をもてない
6. 子どもの友人関係に不満がある
7. 子どもの身体の発育や健康面に不安がある
8. 子どもの素行に問題がある
9. 子どもの性格や癖に不安がある
10. 子どもにお金の心配をかけていると思うことがある
11. きょうだいの仲が悪い
12. 親子の仲が悪い
13. 子どもが学校や保育園等に行きたがらない
14. 子どもがいじめられているのではないかと思うことがある
15. 幼稚園・保育園・学校の担任・担当者に不満がある
16. その他 ()
17. 特にない

【表 46-1】

非支援世帯					
項目	回答数	割合	項目	回答数	割合
1	159	19.9	10	78	9.8
2	120	15.0	11	30	3.8
3	82	10.3	12	8	1.0
4	65	8.1	13	14	1.8
5	34	4.3	14	35	4.4
6	34	4.3	15	40	5.0
7	92	11.5	16	16	2.0
8	13	1.6	17	197	24.7
9	83	10.4	—		

(n=798)

【表 46-2】

要支援世帯					
項目	回答数	割合	項目	回答数	割合
1	66	31.6	10	93	44.5
2	67	32.1	11	11	5.3
3	51	24.4	12	4	1.9
4	31	14.8	13	14	6.7
5	20	9.6	14	33	15.8
6	14	6.7	15	22	10.5
7	37	17.7	16	6	2.9
8	6	2.9	17	37	17.7
9	41	19.6	—		

(n=209)

子どもに対しての悩みに関しては、要支援世帯のほうが、概して回答比率が高い。複数の悩みを抱えていることが想像される。中でも、「あいさつ、規則正しい生活、整理整頓など生活習慣が身についてない」「子どもが勉強をしない」「子どもが反抗的」といった項目は、非支援世帯と10ポイント以上の差異があり、保護者の子に対する心配が表されている。さらに、とりわけ「子どもにお金の心配をかけていると思うことがある」の項目は顕著に差がある。

問 51 子育てに関して、悩んでいることはありますか。

【当てはまる番号すべてに○をご記入ください】

1. 子どもがなつかない
2. 子どもを好きになれない
3. 子育てに自信が持てない
4. 子育ての悩みに、相談相手がいない
5. 子育てに関する情報がわからない
6. 子育て仲間の友人がいない
7. 子どもとの時間がとれない
8. 配偶者・パートナーが子育てにあまり協力的でない
9. 自分の親や周りの人たちとの子育ての考え方に違いがある
10. 子どもの教育費が心配
11. 子どもに十分な食事や栄養を与えることができない
12. 子どもを預かってほしいときの預かり場所がない
13. 仕事と子育ての両立が困難な状況がある
14. 仕事をしたいと思っているができない状況にある
15. 自分自身の体調、体力、健康面に不安がある
16. 自分自身の自由な時間がとれない
17. 子どもの要求に応えられない
18. その他 ()
19. 特にない

【表 47-1】

非支援世帯					
項目	回答数	割合	項目	回答数	割合
1	2	0.3	11	16	2.7
2	2	0.3	12	59	10.0
3	57	9.7	13	78	13.2
4	23	3.9	14	42	7.1
5	23	3.9	15	98	16.6
6	26	4.4	16	89	15.1
7	61	10.4	17	56	9.5
8	45	7.6	18	22	3.7
9	31	5.3	19	176	29.9
10	215	36.5	—		

(n = 798)

【表 47-2】

要支援世帯					
項目	回答数	割合	項目	回答数	割合
1	2	1.0	11	22	10.5
2	2	1.0	12	28	13.4
3	21	10.0	13	56	26.8
4	19	9.1	14	24	11.5
5	11	5.3	15	74	35.4
6	14	6.7	16	40	19.1
7	21	10.0	17	43	20.6
8	3	1.5	18	4	1.9
9	16	7.7	19	22	10.5
10	143	68.4	—		

(n = 209)

子育てに関する悩みに関しては、非支援世帯・要支援世帯とも「子どもの教育費が心配」が第1位になっている。特に、要支援世帯ではその項目に対する悩みは60%を超えている。また、「仕事と子育ての両立が困難な状況がある」「自分自身の体調、体力、健康面に不安がある」含め、上位3位までは、両対象世帯同様である。「子どもの要求に答えられない」という項目は、要支援世帯で20%を超えている。

問 52 子育てについて、相談できる方はどのような方ですか。

【当てはまる番号すべてに○を付けてください】

1. 配偶者・パートナー 2. 自分の親 3. 配偶者・パートナーの親
 4. 自分の子ども 5. きょうだい・親戚 6. 友人・知人 7. 近隣の人
 8. 職場 9. 学校の先生 10. 保育所・幼稚園 11. 医師・看護師
 12. 福祉事務所・児童相談所等の行政機関 13. 民間の相談所
 14. 各種電話相談 15. インターネットでのサイト
 16. 相談できる人はいない 17. その他（ ）

【表 48-1】

非支援世帯					
項目	回答数	割合	項目	回答数	割合
1	472	80.1	10	83	14.1
2	350	59.4	11	47	8.0
3	167	28.3	12	37	6.3
4	76	12.9	13	4	0.7
5	203	34.5	14	7	1.2
6	313	53.1	15	56	9.5
7	42	7.1	16	13	2.2
8	123	20.9	17	11	1.9
9	114	19.4	—		

(n=798)

【表 48-2】

要支援世帯					
項目	回答数	割合	項目	回答数	割合
1	26	12.4	10	14	6.7
2	119	56.9	11	11	5.3
3	8	3.8	12	22	10.5
4	35	16.7	13	0	0
5	85	40.7	14	3	1.4
6	106	50.7	15	10	4.8
7	13	6.2	16	17	8.1
8	44	21.1	17	5	2.4
9	46	22.0	—		

(n=209)

要支援世帯における「配偶者・パートナー」「その親」に関して少ないのは、対象群設定の理由から、不自然な数字ではないと考える。

■子育て等について要望すること

問 53 お子さんにとって、どのような支援があると良いと思いますか。

【当てはまる番号すべてに○を付けてください】

1. 保育所等乳幼児期の施設の充実
2. 家庭の事情によっては子どもを預かる場所やサービス
3. 低い家賃で住めるところ（公営住宅や、子どもの寮など）
4. 就園・就学のための経済的援助
5. 常日頃の生活のための経済的援助
6. 子どもの進路や就労について相談できるところ
7. 保護者の就労について相談できるところ
8. 生活向上のための保護者の資格取得、教育の機会
9. 子どもの将来のため会社等職場体験等ができる機会
10. 子どもが安心して遊べる場所
11. 子どもにとって自然体験や集団遊びなど多様な活動の機会
12. 地域における子どもの居場所
13. 子育ての親同士の居場所
14. 子どものみで無料もしくは安価で食事ができる場所
15. 無償もしくは低料金の学習支援
16. 気軽に相談できる場所
17. 保護者が就労と子育ての両立ができるような制度
18. 子どもの医療制度の充実
19. 家族以外の世代の異なる人との交流
20. その他（)
21. 特にない

【表 49-1】

非支援世帯					
項目	回答数	割合	項目	回答数	割合
1	107	18.2	11	190	32.3
2	175	29.7	12	111	18.8
3	85	14.3	13	67	11.4
4	198	33.6	14	94	16.0
5	119	20.2	15	254	43.1
6	113	19.2	16	75	12.7
7	63	10.7	17	175	29.7
8	89	15.1	18	171	29.0
9	134	22.8	19	71	12.1
10	260	44.1	20	22	3.7
			21	31	5.3

(n = 589)

【表 49-2】

要支援世帯					
項目	回答数	割合	項目	回答数	割合
1	21	10.0	11	45	21.5
2	52	24.9	12	31	14.8
3	80	38.3	13	13	6.2
4	94	45.0	14	52	24.9
5	86	40.8	15	134	64.1
6	58	27.8	16	40	19.1
7	38	18.2	17	75	35.9
8	56	26.8	18	53	25.4
9	63	30.1	19	19	9.1
10	65	31.1	20	10	4.8
			21	7	3.3

(n = 209)

非支援世帯、要支援世帯ともに「無償もしくは低料金の学習支援」「就園・就学のための経済的援助」の項目が上位に位置付けられた。非支援世帯では、「子どもが安心して遊べる場所」が第1位となっている（要支援世帯では第5位）。要支援世帯では、この3つに加え、「低い家賃で住めるところ」「常日頃の生活のための経済的援助」「子どもの将来のため会社等職場体験等ができる機会」「保護者が就労と子育ての両立ができるような制度」が30%を上回っている。

概して、要支援世帯の対象群のほうが、要望回答は多い。1件あたりで言えば、非支援世帯では平均3.2件の回答で、要支援世帯では平均5.2個の回答となっている。

問54 子育て、あるいは子どもの福祉に関して行政に要望することの自由記述は、第2章(4)の「問54」自由記述を参照のこと